

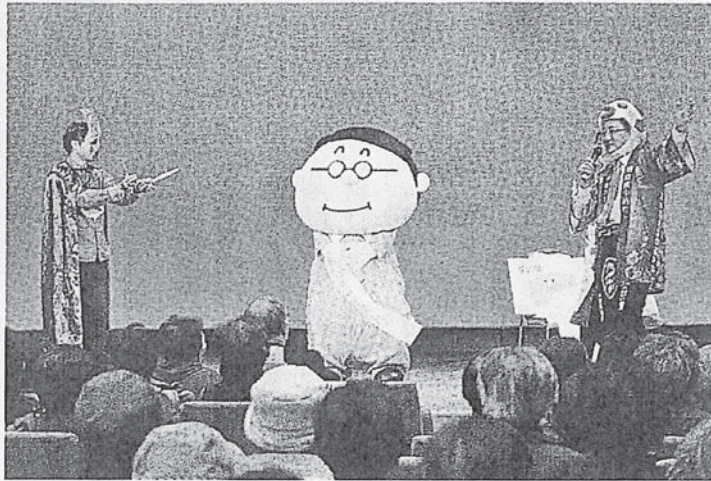
一丸で「短命返上！」

積極的に課題解決 中泊町が「健康宣言」

中泊町は9日、町総合センターパルナスで「なかどまり健康づくりフォーラム」を開いた。濱館豊光町長が「健康宣言」を行い、町を挙げて「短命返上」に取り組むことを強くアピールした。

2015年の同町の女性の平均寿命は85・9歳で県内20位であり、10年前と比べ19位上昇しているが、男性

は78・1歳で38位。10年前より4位後退した。がんや生活習慣病による死者の割合も高い。課題解決に向け、フォーラムには約300



寸劇で濱館町長（右）自らが壇上に上がり、「健康のまち」への取り組みをアピールした

人が出席。濱館町長は「町民一人ひとりが自らの健康に関心を持ち、進んで健康づくりに取り組む、地域一丸となって健康な町づくりを進める」と宣言した。

この後、弘前大学大学院医学研究科の中路重之特任教授が「健康寿命を延ばすために一人ひとりができること」と題して講演。短

命の原因を塩分の過剰摂取、たばこ、酒、運動不足などとした上で「全部改善できれば良いが、一つだけでも良くなれば違う。一人ひとりの自覚が大事」と強調した。

(盛禎史)